

岩手県立病院等の経営計画の取組状況について

(平成27年度の取組実績)

I 経営計画（岩手県立病院等の経営計画 2014-2018）の概要

1 計画策定の趣旨

医師不足等の限られた医療資源の中で、県民に良質な医療を持続的に提供するためには、県立病院間はもとより、他の医療機関との役割分担と連携をより一層進める必要があり、また、安定した経営基盤の確立が求められていることから、これらの実現に向けた方策を明らかにするため本計画を策定しました。

2 計画の位置付け

「岩手県立病院等の新しい経営計画」に続く、新たな経営計画として、平成 25 年 12 月に「岩手県立病院等の経営計画 2014-2018」を策定しました。

この計画は、平成 19 年 12 月に総務省が策定した「公立病院改革ガイドライン」に定める「公立病院改革プラン」に位置付けているものであり、また、県が平成 25 年度から 5 年間の医療政策の方向性を定めた「岩手県保健医療計画 2013-2017」を踏まえた計画となっています。

3 基本理念及び基本方針

県立病院の創業の精神である「県下にあまねく良質な医療の均てんを」という基本理念のもと、次の 4 つの基本方針を掲げ、県立病院の運営に努めることとしています。

- ◇ 心のかよう、患者中心の医療の展開 〈患者本位〉
- ◇ 職員が働きがいを持つ職場づくり 〈職員重視〉
- ◇ 健全経営に向けた経営の効率化 〈不断の改革改善〉
- ◇ 地域と一体となった医療の確保 〈地域との協働〉

4 計画の基本方向

計画の実行にあたって、次の 5 つの基本方向ごとに実施計画を定めています。

- 1 県立病院間・他の医療機関を含めた役割分担と地域連携の推進
- 2 良質な医療を提供できる環境の整備
- 3 医師不足解消と医師の負担軽減に向けた取組の推進
- 4 職員の資質向上と人員の重点配置
- 5 安定した経営基盤の確立

5 計画の期間

平成 26 年度から平成 30 年度までの 5 年間の計画期間とします。

なお、医療政策に係る国の動向に注視しながら、診療報酬改定や患者動向など、県立病院を取り巻く環境の変化に的確に対応していくため、随時見直しを行います。

6 計画の進行管理

計画を進めるにあたっては、年度ごとの事業運営方針・重点取組事項を定めるとともに、取組状況について自己評価を行います。

評価結果は、外部委員会の意見等を踏まえてとりまとめ、医療局のホームページなどで公表します。

Ⅱ 平成 27 年度県立病院等事業の概況

1 取組実績

経営計画に掲げる 5 つの基本方向ごとに、実施計画を定め取組を推進しました。

平成 27 年度の実績は、別紙「平成 27 年度重点的取組事項の実績について」(p5～p12) のとおりです。

2 決算等の概況

(1) 決算の概況

平成 27 年度の県立病院等事業会計決算は、総収益 1,007 億 8 百万円余に対し、総費用 1,020 億 8 千 3 百万円余で、差引 13 億 7 千 4 百万円余の純損失となりました。

これにより、累積欠損金は、平成 26 年度末 437 億 70 百万円から 451 億 4 千 5 百万円となりました。

収益面では、入院患者の在院日数の短縮等による入院収益の減少及び国の定める繰出基準の地財単価の見直し等により、一般会計からの繰入金が増加したものの、外来収益では高額薬剤使用の増加等による一人一日あたり収益（診療単価）がアップしたことから、平成 26 年度に比較し 4 億 6 千 3 百万円の増加となっています。

費用面では、退職給付引当金等の一括計上を行った平成 26 年度に比較して 255 億 2 千 8 百万円の減少しましたが、一括計上の影響を除くと、給与改定に伴う給与費及び高額薬剤使用の増加により材料費がそれぞれ増加し、18 億 3 千 7 百万円の増加となっています。

なお、経常損益では、7 億 1 千 4 百万円余の赤字となり、平成 21 年度以来の赤字を計上となりました。

(2) 収支計画等との比較

経営計画における病床数や患者数の目標、収支計画に対する実績との比較は次表のとおりです。

ア 患者数

入院患者数は、126 万 9 千人余で、収支計画比 6 万 3 千人余の減（4.8%減）となりました。また、外来患者数は、196 万 7 千人余で、収支計画比 8 千人余の減（0.4%減）となりました。

イ 収益

入院収益は、552 億 2 千万円余となり、収支計画比 20 億 8 千 3 百万円減（3.6%減）となりました。

外来収益は、268 億 3 千万円余となり、収支計画比 32 億 2 千 4 百万円増（13.7%増）となりました。

収益の合計は、1,007 億 8 百万円余となり、収支計画比 5 億 3 千 4 百万円増（0.5%増）となりました。

ウ 費用

費用は、1,020 億 8 千 3 百万円余となり、収支計画比 35 億 8 千 2 百万円増（3.6%増）となりました。

エ 損益

損益は、13 億 7 千 4 百万円余の赤字となり、赤字額は収支計画比 30 億 4 千 7 百万円増（182.1%増）となりました。

◇平成 27 年度実績（決算）と収支計画との比較

(単位：人、百万円)

	26 年度 実績 (A)	27 年度		対 26 年度実績比較		対収支計画比較		
		収支計画 (B)	実績 (C)	増減 (C-A)	率(%) ((C-A)/A)	増減 (C-B)	率(%) ((C-B)/B)	
稼働病床数〔床〕※	4,676	4,792	4,610	△66	△1.4	△182	△3.8	
患者数	入院患者延数	1,306,736	1,333,383	1,269,916	△36,820	△2.8	△63,467	△4.8
	外来患者延数	2,026,398	1,976,301	1,967,743	△58,655	△2.9	△8,558	△0.4
収益	入院収益	55,867	57,304	55,220	△647	△1.2	△2,083	△3.6
	外来収益	25,491	23,607	26,830	1,340	5.3	3,224	13.7
	その他医業収益	5,918	6,124	5,852	△66	△1.1	△272	△4.4
	医業外収益	12,858	13,141	12,807	△51	△0.4	△334	△2.5
	特別利益	112	—	0	△112	皆減	0	—
	収益計 (a)	100,246	100,175	100,709	463	0.5	534	0.5
	うち一般会計負担金	14,302	14,360	13,547	△754	△5.3	△813	△5.7
費用	給与費	52,901	53,443	54,266	1,365	2.6	823	1.5
	材料費	22,391	22,742	23,506	1,115	5.0	764	3.4
	うち薬品費	13,705	13,830	14,659	954	7.0	829	6.0
	うち診療材料費	7,796	7,886	8,011	215	2.8	126	1.6
	その他医療費用	16,937	18,657	17,297	360	2.1	△1,361	△7.3
	医業外費用	6,736	3,660	6,354	△382	△5.7	2,695	73.6
	特別損失	28,647	—	660	△27,987	△97.7	660	—
	費用計 (b)	127,612	98,502	102,083	△25,528	△20.0	3,582	3.6
損 益 (a-b)	△27,366	1,673	△1,374	25,992	△95.0	△3,048	△182.1	
年度末累積欠損金	△43,770	△41,461	△45,145	△1,375	—	△3,684	—	

※1 稼働病床数は一般、療養、精神の稼働病床数である。

※2 金額を百万円単位としているため、決算公表資料の数値と一致しないことがある。

Ⅲ 数値目標の評価

経営計画では、「経営状況の検証に用いる経営指標及び数値目標」並びに「県立病院として担うべき医療機能の確保に係る指標及び数値目標」を設定しており、平成27年度の実績は次のとおりとなっています。

1 経営状況の検証に用いる経営指標及び数値目標

項目	単位	H26	H27		評価等	
		実績	計画	実績		
経常収支比率	%	101.2	101.7	99.3	国の定める繰出基準の地財単価の見直し等により、一般会計からの繰入金が増加したこと等から、目標達成に至らなかった。	
医業収支比率	%	94.6	91.8	92.5	給与費及び材料費の増加等により医業費用が増加した。一方、入院患者の在院日数の短縮等により入院収益が増加したものの、外来診療単価の増加に伴い外来収益が増加したこと等により、医業収益も増加したことから目標を達成した。	
職員給与費対医業収益比率	%	60.7	61.4	61.7	医業収益は増加したものの、給与改定に伴う給料、手当の増加及び年金一元化に伴う共済負担金が増加したことから、目標達成に至らなかった。	
材料費対医業収益比率	%	25.6	26.1	26.7	医業収益は増加したものの、高額薬剤使用の増加等により薬品費が増加したことから、目標達成に至らなかった。	
病床利用率	センター病院及び基幹病院（内陸南部）	%	82.9	85.0	82.4	新患者数の減少及び在院日数の短縮等により、目標達成に至らなかった。なお、一部の病院では病棟休止等稼働病床数を見直したことにより、前年度を上回った。
	基幹病院（県北・沿岸部）	%	70.8	78.0	73.6	
	地域病院	%	65.2	75.0	64.4	新患者数の減少及び退院患者の増加等により、目標達成に至らなかった。
	精神科病院	%	78.0	78.0	71.0	

2 県立病院として担うべき医療機能の確保に係る指標及び数値目標

項目	単位	H26	H27		評価等
		実績	計画	実績	
紹介率（中央病院及び基幹病院）	%	51.4	50.0	52.1	開業医との連携強化の取組を進めた結果、紹介率・逆紹介率ともに増加し目標を達成した。
逆紹介率（中央病院及び基幹病院）	%	57.4	39.0	59.4	
初期研修医1年次受入数	人	56	67	59	医学生に対するアピールを強化したこと等により、前年度より増加したものの、医学部卒業生の都市部・大規模病院志向等により、目標達成に至らなかった。

《参考》経営指標の解説

$\text{経常収支比率} = \frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}}$	<p>経常収益（医業収益+医業外収益）に対し経常費用（医業費用+医業外費用）があったかを示す。比率は100を超える（黒字）ことが望ましい。</p>
$\text{医業収支比率} = \frac{\text{医業収益}}{\text{医業費用}}$	<p>比率は100を超えることが望ましいが、自治体病院は不採算を担っていることから低位にならざるを得ないという見方もある。</p>
$\text{職員給与費対医業収益比率} = \frac{\text{職員給与費}}{\text{医業収益}}$	<p>医療活動に伴う収益（医業収益）に対し職員給与費が占める割合。</p>
$\text{材料費対医業収益比率} = \frac{\text{材料費}}{\text{医業収益}}$	<p>医療活動に伴う収益（医業収益）に対し、薬品費や診療材料費が占める割合。</p>

平成27年度重点的取組事項の取組実績について

1 県立病院間・他の医療機関を含めた役割分担と地域連携の推進

重点取組項目	主な取組内容 (H27年度)		
(1) 県立病院群の一体的・効率的な運営			
1-(1)-① 一体的な運営に向けた取組の強化	<ul style="list-style-type: none"> ○幹部懇談会の開催（業務支援課） <ul style="list-style-type: none"> ・病院の経営改善及び一体的運営の推進について意見交換（10病院） ○基幹病院への医師の重点配置と地域病院への支援に向けた取組（医師支援推進室） <ul style="list-style-type: none"> ・肋骨連携支援のための圏域会議の開催（1/15：南部・中央、1/19：北部、1/20中部） ・広域人事異動システムの円滑な運用及び被災再建病院の診療応援体制の構築 		
1-(1)-② 圏域を越えた連携強化	<ul style="list-style-type: none"> ○沿岸病院支援体制の構築（業務支援課） <ul style="list-style-type: none"> ・沿岸病院（山田、大槌、釜石）への視能訓練業務応援の継続 		
1-(1)-③ 基幹病院・本庁に集約した業務の運用方法の改善	<ul style="list-style-type: none"> ○業務の集約化に係る課題解決に向けた取組の推進（経営管理課） <ul style="list-style-type: none"> ・本庁部会及び検討委員会の開催（各3回） ・病院事務の業務量調査の実施 ・「医療局業務マニュアル」の作成 ○給与事務の改善（職員課） <ul style="list-style-type: none"> ・「給与事務の手引き」の改訂 ・給与事務担当者研修会の実施（6/9） 		
(2) 地域の状況や各病院の特色等に基づいた各病院が担うべき役割と機能			
1-(2)-① 病院ごとの役割・機能の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ○地域医療構想策定及び病床機能報告制度への対応（経営管理課） <ul style="list-style-type: none"> ・地域医療構想策定のための岩手県医療審議会医療計画部会及び圏域連携会議へのオブザーバー参加 ・病床機能報告に係る各病院へ周知及び報告内容についての情報収集・取りまとめ 		
1-(2)-② 病床規模の適正化	<ul style="list-style-type: none"> ○新たな公立病院改革ガイドラインや地域の医療ニーズを踏まえた病床規模適正化の推進（経営管理課、医事企画課） <ul style="list-style-type: none"> ・病院との情報交換（6/15～22、10/28～11/2） 		
(3) 他の医療機関・介護施設等との役割分担と連携			
1-(3)-① 介護・福祉との連携強化	<ul style="list-style-type: none"> ○地域医療福祉連携体制の強化（職員課） <ul style="list-style-type: none"> ・地域病院（遠野、江刺、千厩）の退院調整に携わる看護師の配置（各1人）による体制強化（4月～） ○地域包括ケアシステム構築への参画（経営管理課、医事企画課） <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケア病棟（病床）導入の可能性についての20病院全ての整理検討（8月）及び導入に向けた協議（7～8月：大東、10月：東和、1～2月：千厩） 		
1-(3)-② 民間移管の円滑な実施	<ul style="list-style-type: none"> ○沼宮内地域診療センター（経営管理課） <ul style="list-style-type: none"> ・医療法人との協議状況等について岩手町との情報交換（4/6、8/7、9/17、1/19、2/19） 		
1-(3)-③ 病院等施設の空きスペースの活用	<ul style="list-style-type: none"> ○併設特別養護老人ホーム等経営状況ヒアリング（経営管理課） <ul style="list-style-type: none"> ・4月：一戸、九戸、花泉、大迫 		
(4) 地域との協働による病院運営			
1-(4)-① 広報活動等による県民理解の醸成	<ul style="list-style-type: none"> ○市町村の広報事業等を通じた情報提供（随時）（経営管理課） ○各就職説明会やイベントの情報掲載（随時）（職員課） <ul style="list-style-type: none"> ・医療局主催就職説明会実施情報（5月）、各種看護職員養成校及び就職支援業者主催就職説明会情報（随時）の掲載 ・県立病院看護部門紹介動画の作成及び関係機関へのDVD配布（12月） ○採用試験の受験案内掲載（随時）（職員課） <ul style="list-style-type: none"> ・採用試験（特別募集・通常募集）の受験案内掲載 		
	数値目標	目標	H27実績
	救急患者総数のうち当日帰宅措置患者の割合	77.2%	76.9%
			達成

重点取組項目	主な取組内容 (H27年度)
1-(4)-② 運営協議会等の開催	○県立病院運営協議会 (経営管理課) ・9圏域で開催 (8月～1月)
1-(4)-③ ボランティアとの協働	○病院ボランティア (経営管理課) ・H27年度院内ボランティア受入状況調査の実施 (8月) ・地域診療センターを含む26病院等のうち18病院等で受入れ (69%) ・受入れ18病院等のうち13病院等でボランティア団体の組織化 (72%)

2 良質な医療を提供できる環境の整備

重点取組項目	主な取組内容 (H27年度)								
(1) 患者中心の安全・安心な医療の提供									
2-(1)-①-ア 医療の質の確保 《病院機能評価受審の推進》	○病院機能評価 (経営管理課) ・受審予定病院の動向確認 釜石：訪問審査受審 (7/28～29) 大船渡：訪問審査受審 (1/28～29) 中部：訪問審査受審 (2/8～9) 胆沢：訪問審査受審 (3/7～8)								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>数値目標</th> <th>目標</th> <th>H27実績</th> <th>H27達成状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病院機能評価認定病院数</td> <td>17病院</td> <td>17病院</td> <td>達成</td> </tr> </tbody> </table>	数値目標	目標	H27実績	H27達成状況	病院機能評価認定病院数	17病院	17病院	達成
数値目標	目標	H27実績	H27達成状況						
病院機能評価認定病院数	17病院	17病院	達成						
2-(1)-①-イ 医療の質の確保 《クリニカルパス作成の推進》	○クリニカルパス作成の推進 (業務支援課) ・クリニカルパス推進委員会 (7月、11月)、クリニカルパス研修会 (1月) 開催 ・第1四半期 (4～6月) 適用率61.9% ・第2四半期 (7～9月) 適用率58.9% ・第3四半期 (10～12月) 適用率60.8% ・第4四半期 (1～3月) 適用率59.0%								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>数値目標</th> <th>目標</th> <th>H27実績</th> <th>H27達成状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クリニカルパス適用率</td> <td>57.0%</td> <td>60.1%</td> <td>達成</td> </tr> </tbody> </table>	数値目標	目標	H27実績	H27達成状況	クリニカルパス適用率	57.0%	60.1%	達成
数値目標	目標	H27実績	H27達成状況						
クリニカルパス適用率	57.0%	60.1%	達成						
2-(1)-①-ウ 医療の質の確保 《リハビリテーション提供体制の強化》	○365日体制の段階的な導入に向けた支援 (業務検討委員会) (業務支援課) ・365日リハ実施病院 (中央、中部、千厩、久慈) ・土・祝日リハ導入病院 (胆沢、遠野、二戸) ・土リハ導入病院 (大船渡、宮古、磐井、高田) ・4連休以上での休日対応 (釜石)								
2-(1)-①-エ 医療の質の確保 《病棟薬剤業務の計画的な導入》	○病棟薬剤業務の拡大 (業務支援課) ・基幹病院を中心とした実施病院の拡大 実施病院は8病院 (中央、大船渡、宮古、千厩、中部、胆沢、磐井、久慈)。 なお、胆沢、磐井は7月から算定開始、久慈は11月から算定再開した一方で、東和は4月から、釜石は5月からそれぞれ算定休止。								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>数値目標</th> <th>目標</th> <th>H27実績</th> <th>H27達成状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病棟薬剤業務実施病院数</td> <td>11病院 (新規実施3病院)</td> <td>8病院 (新規実施2病院)</td> <td>未達成</td> </tr> </tbody> </table> <p>未達成理由：薬剤師の採用欠員による。</p>	数値目標	目標	H27実績	H27達成状況	病棟薬剤業務実施病院数	11病院 (新規実施3病院)	8病院 (新規実施2病院)	未達成
数値目標	目標	H27実績	H27達成状況						
病棟薬剤業務実施病院数	11病院 (新規実施3病院)	8病院 (新規実施2病院)	未達成						
2-(1)-①-オ 医療の質の確保 《診療記録管理体制の強化》	○診療情報管理業務の整理 (医事企画課) ・診療記録監査WG (3回開催) 及び業務検討委員会 (2回開催) において県立病院診療記録監査要綱及び点検項目票を検討、制定。 ・診療録体制加算Ⅰを磐井 (6/1～)、中央 (7/1～) が上位取得、同Ⅱを大東 (6/1～) が新規取得。								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>数値目標</th> <th>目標</th> <th>H27実績</th> <th>H27達成状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>診療録体制加算Ⅰ、Ⅱの取得</td> <td>3病院 (新規取得2病院)</td> <td>3病院 (新規取得1病院)</td> <td>達成 (未達成)</td> </tr> </tbody> </table>	数値目標	目標	H27実績	H27達成状況	診療録体制加算Ⅰ、Ⅱの取得	3病院 (新規取得2病院)	3病院 (新規取得1病院)	達成 (未達成)
数値目標	目標	H27実績	H27達成状況						
診療録体制加算Ⅰ、Ⅱの取得	3病院 (新規取得2病院)	3病院 (新規取得1病院)	達成 (未達成)						

重点取組項目	主な取組内容 (H27年度)																				
2-(1)-②-ア 医療安全対策・感染対策の推進 《医療安全対策の推進》	○医療安全対策の推進（業務支援課） ・医療安全管理専門員会及び医療安全管理者等会議（月1回）開催（うち2回は、医療安全管理専門員と医療安全担当者との合同会議の開催） ・医療安全管理専門員によるインシデント分析 ・医療安全管理専門員会におけるインシデント事例の情報共有 ・院内パトロール実施のためのガイドライン（院内ラウンド）の作成 ・医療法改正による医療事故調査制度に対応した医療安全対策指針、同準則、医療事故等対応マニュアルの改正、周知（9/25、2/1）																				
2-(1)-②-イ 医療安全対策・感染対策の推進 《医療メディエーターの活用促進》	○医療メディエーターの活用推進（業務支援課） ・医療メディエーター基本方針、同業務指針の策定、周知（3/31） ・医療メディエーター養成研修会開催（7/4～5）																				
2-(1)-②-ウ 医療安全対策・感染対策の推進 《医療機器の安全確保》	○医療機器の安全確保（業務支援課） ・業務検討委員会（5回）開催 ・「CEたより」の発刊（12月）																				
2-(1)-②-エ 医療安全対策・感染対策の推進 《感染対策の推進》	○各病院における院内感染防止対策の推進（業務支援課） ・院内感染対策委員会の開催（7月、10月、12月、2月） ・病院間における支援（感染管理認定看護師の病院間の業務応援）体制の構築（4月）、実施（下半期）																				
2-(1)-③ 患者満足度の向上	○患者満足度調査の実施（医事企画課） ・調査実施：6/16～30、本庁報告：～7/31、調査結果公表：10/9 ・患者満足度の向上に関する取組の推進のため、各病院の取組を調査（1月）、取りまとめ結果の情報提供（2月） ○研修の実施による接遇の向上（職員課） ・新採用職員研修（前期）（5月～6月） ・医療クラーク初任者研修会（8/21） ・接遇指導者養成研修会（9/24～25） ・新採用職員研修（中途採用者）（11/12～13）																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>数値目標</th> <th>項目</th> <th>目標</th> <th>H27実績</th> <th>H27達成状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">基本的な接し方</td> <td>不満・やや不満の割合</td> <td>5.7%以下</td> <td>4.9%</td> <td rowspan="4">達成</td> </tr> <tr> <td>満足・やや満足の割合</td> <td>56.0%以上</td> <td>66.4%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">インフォームド・コンセント</td> <td>不満・やや不満の割合</td> <td>6.1%以下</td> <td>4.9%</td> </tr> <tr> <td>満足・やや満足の割合</td> <td>53.0%以上</td> <td>64.1%</td> </tr> </tbody> </table>	数値目標	項目	目標	H27実績	H27達成状況	基本的な接し方	不満・やや不満の割合	5.7%以下	4.9%	達成	満足・やや満足の割合	56.0%以上	66.4%	インフォームド・コンセント	不満・やや不満の割合	6.1%以下	4.9%	満足・やや満足の割合	53.0%以上	64.1%
数値目標	項目	目標	H27実績	H27達成状況																	
基本的な接し方	不満・やや不満の割合	5.7%以下	4.9%	達成																	
	満足・やや満足の割合	56.0%以上	66.4%																		
インフォームド・コンセント	不満・やや不満の割合	6.1%以下	4.9%																		
	満足・やや満足の割合	53.0%以上	64.1%																		
(2) 病院の施設・設備の整備																					
2-(2)-① 被災した病院の再建	○大槌病院（経営管理課） ・建築工事等（H26.7～） ・定礎式：2/15 ・竣工：3/22 ○山田病院（経営管理課） ・建築工事等（H27.3～H28.5） ○高田病院（経営管理課） ・設計業務委託契約締結（5/7）（委託期間：5/7～H28.4） ・地質調査業務委託契約締結（11/27）（委託期間：11/30～3/13） ○医療器械の整備（業務支援課） ・大槌病院の整備品目の調整（4～9月）、整備（10～3月） ・山田病院の整備品目の調整（4～9月）																				
2-(2)-② 病院附帯設備の計画的な改修	○大規模改修（経営管理課） ・大船渡病院附帯設備改修工事実施設計（5～3月） ○建物一般整備（経営管理課） ・H27年度整備計画通知（6/1） ・H28年度病院要望調査（6月～）、病院要望現況調査（9月）、整備計画策定（11、2月）																				

重点取組項目	主な取組内容 (H27年度)								
2-(2)-③ 高度医療機器の効率的な整備	<ul style="list-style-type: none"> ○医療用設備整備調査委員会(業務支援課) <ul style="list-style-type: none"> ・調査委員会開催(6、10、2月) ・緊急整備要望への対応検討 ・病院予算配分の見直し ・H28年度医療器械予算執行計画の策定 ・医療器械整備基準の見直し ・特定医療器械管理簿の見直し 								
(3) 医療情報システムの整備									
2-(3)-① 電子カルテシステムの計画的導入	<ul style="list-style-type: none"> ○電子カルテ導入・更新(医事企画課) <ul style="list-style-type: none"> ・宮古病院導入(2月) ・久慈病院バージョンアップ(3月) ・中部病院ハード更新(2月) ・二戸病院ハード更新(3月) ○オーダ機能の追加(医事企画課) <ul style="list-style-type: none"> ・高田、大槌、山田、軽米病院(8~12月) <table border="1"> <thead> <tr> <th>数値目標</th> <th>目標</th> <th>H27実績</th> <th>H27達成状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電子カルテ稼働病院数</td> <td>11病院</td> <td>11病院</td> <td>達成</td> </tr> </tbody> </table>	数値目標	目標	H27実績	H27達成状況	電子カルテ稼働病院数	11病院	11病院	達成
数値目標	目標	H27実績	H27達成状況						
電子カルテ稼働病院数	11病院	11病院	達成						
2-(3)-② 診療情報共有システムの整備	<ul style="list-style-type: none"> ○岩手県医療情報連携ネットワークシステムの整備(医事企画課) <ul style="list-style-type: none"> ・岩手県医療情報連携推進協議会(5/23) ・岩手県医療情報連携推進協議会WG(6/23、7/30、9/29、11/24、12/21、2/17、3/22) ○二次医療圏内連携システムの導入検討への参画 <ul style="list-style-type: none"> ・気仙、久慈、岩手中部医療圏の地域連携システム導入支援 ○県立病院のデータバックアップ及び共有項目の充実(医事企画課) <ul style="list-style-type: none"> ・医療情報化推進委員会(7/21、2/15) ・機能強化(退院時サマリーデータの追加)稼働(3月) 								

3 医師不足の解消と医師の負担軽減に向けた取組の推進

重点取組項目	主な取組内容 (H27年度)												
(1) 医師確保に向けた取組													
3-(1)-① 医師の絶対数の確保	<ul style="list-style-type: none"> ○関係大学に対する継続した派遣要請(医師支援推進室) <ul style="list-style-type: none"> ・関係大学医局への随時訪問 ・岩手医大地域医療支援委員会への派遣要請(9/30)及び医局訪問 ○医師の任期付職員採用制度によるシニアドクターの採用推進(医師支援推進室) <ul style="list-style-type: none"> ・市町村主管課長会議での周知、ホームページ等による制度の広報 ○即戦力医師の招聘活動の推進及び定着支援に向けたフォローアップの実施(医師支援推進室) <ul style="list-style-type: none"> ・招聘の可能性の高い医師に対する重点的なアプローチ(面談医師数:延べ20人) ・既招聘医師に対するフォローアップ面談(面談医師数:延べ33人) ○奨学金養成医師の効果的な配置(医師支援推進室) <ul style="list-style-type: none"> ・岩手県奨学金養成医師配置調整会議(5/18、9/7、11/9、1/14) ・奨学金養成医師との面談(面談医師数:延べ91人) <table border="1"> <thead> <tr> <th>数値目標</th> <th>目標</th> <th>H27実績</th> <th>H27達成状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規招聘医師数</td> <td>10人</td> <td>6人</td> <td>未達成</td> </tr> <tr> <td>年度末における医師増員数</td> <td>25人</td> <td>△4人※</td> <td>未達成</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">※初期研修医を含む。</p> <p>未達成理由: 震災支援を目的とした招聘医師の減少、派遣元である関係大学医局における医師の絶対数不足による派遣数の減少、大学院進学等によるレジデントの減少など。</p>	数値目標	目標	H27実績	H27達成状況	新規招聘医師数	10人	6人	未達成	年度末における医師増員数	25人	△4人※	未達成
数値目標	目標	H27実績	H27達成状況										
新規招聘医師数	10人	6人	未達成										
年度末における医師増員数	25人	△4人※	未達成										

重点取組項目	主な取組内容 (H27年度)								
3-(1)-② 地域別・診療科別の偏在の緩和	<ul style="list-style-type: none"> ○基幹病院等による地域病院への支援体制の検討と調整 (医師支援推進室) <ul style="list-style-type: none"> ・広域人事異動システムの円滑な運用及び被災再建病院の診療応援体制の構築 ○基幹病院を中心とした病院総合医の育成支援 (医師支援推進室) <ul style="list-style-type: none"> ・総合診療専門医養成プログラム作成に向けた国庫補助事業の活用支援等 (胆沢病院採択) ○圏域内における診療応援及び圏域を越えた連携 (医師支援推進室) <ul style="list-style-type: none"> ・大槌、山田病院の診療体制及び宿日直体制構築への調整支援 (随時) ・大東病院の宿日直支援体制の検討 								
3-(1)-③ 初期研修医及び後期研修医の受入拡大	<ul style="list-style-type: none"> ○臨床研修に関する企画・運営 (医師支援推進室) <ul style="list-style-type: none"> ・研修医、指導医、医学生、病院事務担当者対象事業 ○医学生に対するアピールの強化等 (医師支援推進室) <ul style="list-style-type: none"> ・医学生合同説明会への参加 ○後期研修医 (レジデント) の受入体制の充実と積極的な情報発信 (医師支援推進室) <ul style="list-style-type: none"> ・新たな専門医制度に係る情報提供・共有 (随時) ・新たな専門医制度に係る対応方針、施設認定基準の該当状況等の検討 <table border="1" data-bbox="480 752 1370 831" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">数値目標</th> <th style="width: 25%;">目標</th> <th style="width: 25%;">H27実績</th> <th style="width: 25%;">H27達成状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>初期研修医1年次生受入数</td> <td>67人</td> <td>59人</td> <td>未達成</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-top: 5px;">未達成理由：医学部卒業生の都市部・大規模病院志向等による。</p>	数値目標	目標	H27実績	H27達成状況	初期研修医1年次生受入数	67人	59人	未達成
数値目標	目標	H27実績	H27達成状況						
初期研修医1年次生受入数	67人	59人	未達成						
(2) 魅力ある勤務環境への改善									
3-(2)-① 医師の業務負担の軽減	<ul style="list-style-type: none"> ○認定看護師の育成(業務支援課) <ul style="list-style-type: none"> ・育成計画及び認定看護師教育専門派遣要領に基づく教育専門課程等への派遣職員の選考 (5/15～6/15公募、6/24面接) (H28年度派遣職員9人を選考) ・H27年度派遣職員10人 ・H26年度教育課程修了合格者9人 (全79人) ○医療クラークの体制強化や質的向上(職員課) <ul style="list-style-type: none"> ・基幹病院への医師事務支援室設置 (4月) ・医療クラークの定数増 ・医療クラーク初任者研修会の実施 (8月) ・TV会議システムを使用した医療クラークスキルアップ研修の実施 (7月) 								
3-(2)-② 女性医師の支援	<ul style="list-style-type: none"> ○院内保育の実施(職員課) <ul style="list-style-type: none"> ・24時間保育、病後児保育、学童保育の継続実施 ○女性勤務医師からの意見聴取及び支援策の実施 (医師支援推進室) <ul style="list-style-type: none"> ・女性医師との懇談会開催 (12～2月：7基幹病院) ○在宅女性医師への復職支援 (医師支援推進室) <ul style="list-style-type: none"> ・育児短時間勤務女性医師「ママドクター」の募集開始 (12/7～) 								
3-(2)-③ 医師の処遇改善	<ul style="list-style-type: none"> ○医師の勤務環境及び生活環境の向上 (経営管理課) <ul style="list-style-type: none"> ・磐井病院増改築工事 (医師当直室の移設、救急処置室の拡張等) (H27.7～H28.9) ○医師の処遇改善に向けた取組の推進 (医師支援推進室) <ul style="list-style-type: none"> ・医師に関する諸問題検討委員会開催 (11月) ・既招聘医師に対するフォローアップ面談 (面談医師数：延べ33人) ○勤務医との意見交換の実施 (医師支援推進室) <ul style="list-style-type: none"> ・医師連理事と医療局幹部職員との懇談 (5月) 								

4 職員の資質向上と人員の重点配置

重点取組項目	主な取組内容 (H27年度)
(1) 人づくり	
4-(1)-① 計画的な人材育成	<p>《業務》(業務支援課) (薬事)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○認定薬剤師等の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・業務検討委員会 (4回) (診療放射線) ○圏域での業務支援体制、配置基準の構築 ○放射線治療精度管理専門職の育成と業務支援 <ul style="list-style-type: none"> ・業務検討委員会 (5回) ・新採用者研修会 (7月) ・実務研修会 (10~12月) ・認定技師の育成 (放射線治療品質管理士2人、マンモ6人、PET2人、アブレーション5人ほか) (臨床検査) ○内部・外部精度管理の充実による臨床検査精度の向上 ○認定技師等キャリア開発ガイドラインによる人材育成 <ul style="list-style-type: none"> ・技師会との連携による認定検査師の取得・更新における研修会への派遣 ・業務検討委員会 (6回) ・業務指導実施 (19病院) (看護) ○認定看護師の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・認定看護師部会会議 (5月) ・認定看護師実務研修会 (8月) ・認定看護師養成研修への派遣 (10人) ・業務検討委員会 (6回) (栄養) ○新採用者実務研修会の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・新採用実務研修会 (4月) ・業務検討委員会 (6回) ・業務指導実施 (19病院) (視能訓練) ○部門業務運営方針の運用 <ul style="list-style-type: none"> ・業務検討委員会 (4回) (臨床工学) ○部門業務運営方針の運用 <ul style="list-style-type: none"> ・業務検討委員会 (5回) (医療社会事業) ○部門業務運営方針の運用 <ul style="list-style-type: none"> ・業務検討委員会 (4回) (リハビリテーション) ○部門業務運営方針の運用 <ul style="list-style-type: none"> ・業務検討委員会 (5回) (臨床心理) ○部門業務運営方針の運用 <ul style="list-style-type: none"> ・業務検討委員会 (3回) <p>《事務》(職員課、医事企画課)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事務職員人材育成プランの実施 <ul style="list-style-type: none"> ・主事級育成プランに定める実務研修会 (6~7月) ・OJT基本研修 (8月) ○医事業務指導、研修会等による能力の向上・育成 <ul style="list-style-type: none"> ・医事業務指導 (6月~11月 20病院) ・医事経営課職員スキルアップ勉強会 (11月)

重点取組項目	主な取組内容（H27年度）														
	<p>《職種・部門のリーダーとなる人材》（職員課）</p> <p>○監督者研修、経営幹部職員研修の実施と研修内容の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営幹部職員研修の対象者の見直し ・新任監督者研修（7月） ・経営幹部職員研修（7月） <table border="1"> <thead> <tr> <th>数値目標</th> <th>目標</th> <th>H27実績</th> <th>H27達成状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認定看護師数</td> <td>84人</td> <td>79人</td> <td>未達成</td> </tr> <tr> <td>専門・認定薬剤師数</td> <td>35人</td> <td>35人</td> <td>達成</td> </tr> </tbody> </table> <p>未達成理由：1人試験不合格、1人養成校休学による（認定看護師）。</p>	数値目標	目標	H27実績	H27達成状況	認定看護師数	84人	79人	未達成	専門・認定薬剤師数	35人	35人	達成		
数値目標	目標	H27実績	H27達成状況												
認定看護師数	84人	79人	未達成												
専門・認定薬剤師数	35人	35人	達成												
4－(1)－② 人事考課制度の推進	<p>○人事考課者研修会の実施と研修内容の見直し（職員課）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人事考課初任者研修（5月） ・人事考課者フォローアップ研修（1月） 														
4－(1)－③ 職員研修の充実	<p>○平成27年度研修計画による各種研修の実施（職員課）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・32課程、受講者延べ2,636人 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">数値目標</th> <th>目標</th> <th>H27実績</th> <th>H27達成状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">研修受講後の自己チェック（肯定回答率）</td> <td>意識変化</td> <td>90%以上</td> <td>98.8%</td> <td>達成</td> </tr> <tr> <td>行動変化</td> <td>90%以上</td> <td>96.4%</td> <td>達成</td> </tr> </tbody> </table>	数値目標		目標	H27実績	H27達成状況	研修受講後の自己チェック（肯定回答率）	意識変化	90%以上	98.8%	達成	行動変化	90%以上	96.4%	達成
数値目標		目標	H27実績	H27達成状況											
研修受講後の自己チェック（肯定回答率）	意識変化	90%以上	98.8%	達成											
	行動変化	90%以上	96.4%	達成											
(2) 働きやすい職場環境															
4－(2)－① 職員満足度の向上	<p>○職員満足度調査の実施及び結果の共有</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査実施（8～9月）、集計作業・結果取りまとめ（～11月）、調査結果（速報版）の公表（12月） <table border="1"> <thead> <tr> <th>数値目標</th> <th>目標</th> <th>H27実績</th> <th>H27達成状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>職員満足度調査における満足度</td> <td>79.5%</td> <td>74.5%</td> <td>未達成</td> </tr> </tbody> </table> <p>未達成理由：新規調査項目（休暇取得、パワーハラスメント）に係る満足度が低かったこと等による。</p>	数値目標	目標	H27実績	H27達成状況	職員満足度調査における満足度	79.5%	74.5%	未達成						
数値目標	目標	H27実績	H27達成状況												
職員満足度調査における満足度	79.5%	74.5%	未達成												
4－(2)－② 選択可能な多様な勤務形態	<p>○正規看護職員の夜勤専従の実施（4月～）（職員課）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・12病院52病棟で実施 <p>○ワークライフバランスを考慮した多様な勤務形態の導入に向けた取組の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・12時間勤務の試行（大東：11月～、宮古：1月～） 														
4－(2)－③ 仕事と生活の調和	<p>○産前産後休暇・育児休業等取得者に対する適切な補充（職員課）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事故欠算定方法の見直し結果を踏まえた育児休業者等の適正補充（4月 看護部門：226人→246人（補充率118%→121%）） <p>○超過勤務縮減の取組（職員課）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・36協定の締結及び施行（継続 4月） ・新任監督者研修における勤務時間管理の考え方の周知（7月） ・実地調査における超勤状況及び縮減取組についての聴取・把握（11～1月） 														
4－(2)－④ 職員の健康サポート	<p>○職員定期健康診断、各種健診及び予防接種の実施（職員課）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員定期健康診断等の実施（5、11月） ・Q F T検査の実施（8月） ・健康診断項目の追加（H28年度実施）に向けた検討 <p>○メンタルヘルスケアの取組（職員課）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メンタルヘルスケア支援事業の実施（産業カウンセラーの派遣による出張カウンセリング等） ・ストレスチェックの実施 <p>○「心の病気による職員を抱える管理・監督者のための支援マニュアル」の活用及び職場復帰支援の強化（職員課）</p> <p>○職員喫煙状況調査の継続実施と禁煙支援に係る取組（職員課）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員喫煙状況調査の実施 ・禁煙支援DVDの貸出し（胆沢、二戸） 														

重点取組項目	主な取組内容 (H27年度)
(3) 職員の適正配置	
4-(3)-① 再建する被災病院の 体制確保	<ul style="list-style-type: none"> ○再建に向けた計画的な職員の増員等(職員課) <ul style="list-style-type: none"> ・大槌病院の開院に必要な職員体制の整備(4月) ・山田病院の開院に向けた必要数を加味した採用予定人数でのH27年度職員採用選考試験(通常募集)の実施
4-(3)-② 地域医療福祉連携体 制の構築	<ul style="list-style-type: none"> ○退院調整に携わる看護師及び医療社会事業士の計画的な増員等(職員課) <ul style="list-style-type: none"> ・地域病院(遠野、江刺、千厩)の退院調整に携わる看護師の配置(各1人)による体制強化(4月～)
4-(3)-③ リハビリテーション 等医療技術部門の充 実	<ul style="list-style-type: none"> ○理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の増員(職員課) <ul style="list-style-type: none"> ・理学療法士定数増(中央1、大船渡1、胆沢1、千厩1) ・作業療法士定数増(宮古1、千厩1) ・言語聴覚士定数(退職者の発生により増員なし) ・特別募集実施(言語聴覚士) ○病棟薬剤業務の拡充に向けた薬剤師の確保(職員課) <ul style="list-style-type: none"> ・年度当初に生じた欠員に対する特別募集による採用(10/1までに8人) ・就職説明会等への参加(東北薬科大学2回、岩手医科大学1回) ○臨床工学技士等の増員による体制強化(職員課) <ul style="list-style-type: none"> ・臨床工学技士定数増(中央1人、宮古1人、中部1人) ※圏域応援体制整備のため江刺1人減→胆沢1人(定数外配置)
4-(3)-④ 看護職員の確保	<ul style="list-style-type: none"> ○看護師確保対策検討委員会の提言を踏まえた確保方策の推進(職員課) <ul style="list-style-type: none"> ・教育担当専従看護師の基幹病院への配置(4月 9人) ・新採用技術研修Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの実施(4月、6～9月、8～11月) ・職員採用選考試験(通常募集)における募集要件の見直し(年齢要件の引上げ) ・看護部門ホームページの改訂(9月) ・現任看護師上級課程研修の実施(11月) ○県立病院の魅力等の情報発信(職員課) <ul style="list-style-type: none"> ・就職説明会(5/24) ・看護職員養成施設及び就職支援業者主催就職説明会への参加(大学等9校、就職支援業者主催12回) ・看護師・助産師募集パンフレット作成(5月) ・受験案内のための看護師養成校等訪問(県内11校等、県外1校) ・メールマガジンの配信、看護部門紹介動画の作成・配信・DVD配布

5 安定した経営基盤の確立

重点取組項目	主な取組内容 (H27年度)
(1) 事業運営体制の整備	
5-(1)-① 経営企画機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> ○医事業務委託の整理や事務局の業務見直しによる病院の経営企画機能の強化(経営企画課、医事企画課) <ul style="list-style-type: none"> ・事務事業の見直し検討委員会及び同本庁部会の開催(各3回) ・業務従事状況調査の実施 ・医事業務委託の見直し ・医事業務委託の新規導入(H28.4月～)に向けた準備(東和病院) ・診療情報管理業務検討委員会開催(3回) ○SPDデータを活用した情報提供(業務支援課) <ul style="list-style-type: none"> ・SPDデータによる分析資料提供(毎月)
5-(1)-② 病院経営マネジメントの推進	<ul style="list-style-type: none"> ○経営計画の着実な実行に向けた進行管理(経営管理課) <ul style="list-style-type: none"> ・H26年度重点取組事項実績公表(12月) ・経営の効率化及び今後の医療機能の方向性に係る病院と本庁との意見交換会(10～11月) ・経営計画ロードマップの見直し及びH28年度重点取組事項の作成(3月) ○病院経営マネジメントに関する研修の実施(職員課) <ul style="list-style-type: none"> ・幹部職員研修会(7月) ・事務局長及び総看護師長研修会(9月) ○新たな公立病院改革ガイドラインへの的確な対応(経営管理課) <ul style="list-style-type: none"> ・現経営計画の見直しの必要性についての検討及びスケジュール表の作成

重点取組項目	主な取組内容（H27年度）																													
5-(1)-③ 病院毎の経営目標の設定と進捗管理	<ul style="list-style-type: none"> ○平成27年度当初予算に基づいた各病院の経営目標及び収支計画の策定（経営管理課） <ul style="list-style-type: none"> ・各病院の経営目標及び収支計画の策定（5月）及び進捗管理（四半期毎） ・収支計画等に係る病院と本庁との情報交換会（6月） 																													
(2) 収支均衡に向けた取組																														
5-(2)-① 収益の確保	<ul style="list-style-type: none"> ○急性期病院等を中心とした紹介・逆紹介の推進等による、新入院患者の確保及び診療単価の増（医事企画課） <ul style="list-style-type: none"> ・各病院の収支計画に基づく収支改善取組への支援 ・医事業務指導時の総括課長等による経営に関するヒアリングの実施 ・地域医療福祉連携室担当者会議開催（7月、11月） ○地域医療支援病院の平成28年度承認に向けた取組（宮古病院）（医事企画課） <ul style="list-style-type: none"> ・地域医療支援病院等情報交換会開催（12月） ○次期診療報酬改定に向けた情報収集及び情報共有の推進（医事企画課） <ul style="list-style-type: none"> ・全自病の診療報酬関連情報メール登録による情報収集 ・地域医療構想策定に関する講演会参加（盛岡開催 7月） ・診療情報請求事務セミナー、診療報酬改定セミナー参加（7月、1月、2月） ・H28診療報酬改定に係る資料作成及び関係各課への情報提供 ・H28診療報酬改定に伴う7対1入院基本料シミュレーション及び関係各課への情報提供 ・全国公私病院連盟主催の診療報酬改定説明会の参加（3月） ・診療報酬改定説明会の開催（3月、中央病院） ○全国DPC病院のベンチマーク分析、DPCデータ分析に向けたシステム導入及びDPC分析されたクリニカルパスの活用推進の支援（医事企画課） <ul style="list-style-type: none"> ・医事経営課長等会議（4月） ・DPC担当者会議（6月、2月） ・DPC分析支援のためダッシュボード操作研修会の実施 ・病院ダッシュボードユーザー会への参加（11/10） ・各基幹病院が実施するDPC分析報告会への参加（11～2月） ○指導料等の算定強化、SPDによる特定保険医療材料の突合資料の提供など収益確保の取組（医事企画課） <ul style="list-style-type: none"> ・資料提供「指導、在宅算定状況について」（毎月） ・医事業務指導の実施（5～11月） ・医事業務指導フォローアップの実施（1月） ○請求精度の向上による査定減防止への取組及び再審査請求の促進（医事企画課） <ul style="list-style-type: none"> ・医事業務指導の実施（5～11月） ・査定減状況調査票の提供（毎月） ・レセプトチェックシステム査定・返戻分析機能の説明会（6月） ・査定・返戻分析機能のテスト導入（8月：胆沢病院、11月：久慈病院） ・H27診療報酬請求精度管理調査結果の情報提供（四半期毎） ・支払基金主催のレセプト審査及び査定に関する研修会参加（8月） ・医事経営課職員スキルアップ勉強会開催（11月） ・再審査請求実施状況調査の実施（12月） 																													
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">数値目標</th> <th style="width: 25%;">目標</th> <th style="width: 25%;">H27実績</th> <th style="width: 25%;">H27達成状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病床利用率</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・センター病院及び基幹病院（内陸南部）</td> <td>85.0%</td> <td>80.9%</td> <td rowspan="4" style="text-align: center;">未達成</td> </tr> <tr> <td>・基幹病院（県北・沿岸部）</td> <td>78.0%</td> <td>70.1%</td> </tr> <tr> <td>・地域病院</td> <td>75.0%</td> <td>65.2%</td> </tr> <tr> <td>・精神科病院</td> <td>78.0%</td> <td>71.0%</td> </tr> <tr> <td>紹介率</td> <td>50.0%</td> <td>52.1%</td> <td style="text-align: center;">達成</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>39.0%</td> <td>59.4%</td> <td style="text-align: center;">達成</td> </tr> </tbody> </table>		数値目標	目標	H27実績	H27達成状況	病床利用率				・センター病院及び基幹病院（内陸南部）	85.0%	80.9%	未達成	・基幹病院（県北・沿岸部）	78.0%	70.1%	・地域病院	75.0%	65.2%	・精神科病院	78.0%	71.0%	紹介率	50.0%	52.1%	達成	逆紹介率	39.0%	59.4%	達成
数値目標	目標	H27実績	H27達成状況																											
病床利用率																														
・センター病院及び基幹病院（内陸南部）	85.0%	80.9%	未達成																											
・基幹病院（県北・沿岸部）	78.0%	70.1%																												
・地域病院	75.0%	65.2%																												
・精神科病院	78.0%	71.0%																												
紹介率	50.0%	52.1%	達成																											
逆紹介率	39.0%	59.4%	達成																											
※紹介率、逆紹介率は地域医療支援病院の計算式による（センター病院及び基幹病院）																														
未達成理由：新入院患者の減及び在院日数の短縮による。																														

重点取組項目	主な取組内容（H27年度）												
	<p>○未利用資産の売却（経営管理課）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未利用公舎用地売却公告（一般競争入札）（7月、11月） ・未利用公舎用地先着順売却移行（8～10月、12～3月） ・新規売却物件に係る地積更正登記、不動産鑑定実施（9～11月） ・旧花巻厚生病院跡地売却に向けた解体及び土壌汚染対策工事 ・旧北上病院跡地売却に向けた地歴調査委託（7～8月）、土地状況調査委託（9～10月） <p>○診療部門と協力した特別室の利用促進と算定率向上（医事企画課）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各病院利用状況・算定率の情報提供（毎月） ・医事業務指導により、特別室の徴収・不算定内容の確認及び指導 ・重症室数の上限の見直しに伴う特別室への転換（宮古、磐井、江刺、軽米） 												
<p>5-(2)-②-ア 費用の効率的執行 《適正な給与水準の維持》</p>	<p>○超過勤務縮減の取組（職員課）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・36協定の締結及び施行（継続 4月） ・新任監督者研修における勤務時間管理の考え方の周知（7月） ・実地調査における超勤状況及び縮減取組についての聴取・把握（11～1月） <table border="1" data-bbox="491 719 1382 786"> <thead> <tr> <th>数値目標</th> <th>目標</th> <th>H27実績</th> <th>H27達成状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>給与費対医業収益比率</td> <td>61.4%</td> <td>61.7%</td> <td>未達成</td> </tr> </tbody> </table> <p>未達成理由：給与改定に伴う給料、手当の増加及び年金一元化に伴う共済負担金の増加等による。</p>	数値目標	目標	H27実績	H27達成状況	給与費対医業収益比率	61.4%	61.7%	未達成				
数値目標	目標	H27実績	H27達成状況										
給与費対医業収益比率	61.4%	61.7%	未達成										
<p>5-(2)-②-イ 費用の効率的執行 《投資的経費の効率的な執行》</p>	<p>○大規模改修の計画的な推進（経営管理課）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大船渡病院附帯設備改修工事実施設計（5～3月） <p>○建物一般整備の計画的、効果的な整備（経営管理課）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H27年度整備計画通知（6/1） ・H28年度病院要望調査（6月～）、病院要望現況調査（9月）、整備計画策定（11、2月） <p>○医療用設備整備調査委員会（業務支援課）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査委員会開催（6、10、2月） ・緊急整備要望への対応検討 ・病院予算配分の見直し ・H28年度医療器械予算執行計画の策定 ・医療器械整備基準の見直し ・特定医療器械管理簿の見直し 												
<p>5-(2)-②-ウ 費用の効率的執行 《材料費の抑制》</p>	<p>○後発医薬品の使用拡大（業務支援課）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・推奨後発医薬品11成分17規格設定（9月）、9成分24規格設定（3月） <p>○医療局一括契約の定期的な価格交渉による薬品費の縮減（業務支援課）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期価格交渉（7月、11月） <p>○SPDデータを活用した同種同効品の整理統一及び廉価購入、材料購入価格のベンチマーク（業務支援課）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SPDデータによる分析資料提供（4～12月） ・診療材料プロジェクトチーム会議（6月、9月、12月、1月、3月） ・診療材料担当者情報交換会 ・本庁及び各病院の取組み内容の共有・意見交換（9～10月） ・診療材料担当者研修会（11月） <table border="1" data-bbox="491 1648 1382 1749"> <thead> <tr> <th>数値目標</th> <th>目標</th> <th>H27実績</th> <th>H27達成状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>材料費対医業収益比率</td> <td>26.1%</td> <td>26.7%</td> <td>未達成</td> </tr> <tr> <td>後発医薬品数量割合</td> <td>70.3%</td> <td>77.1%</td> <td>達成</td> </tr> </tbody> </table> <p>未達成理由：高額薬剤使用の増加等による。</p>	数値目標	目標	H27実績	H27達成状況	材料費対医業収益比率	26.1%	26.7%	未達成	後発医薬品数量割合	70.3%	77.1%	達成
数値目標	目標	H27実績	H27達成状況										
材料費対医業収益比率	26.1%	26.7%	未達成										
後発医薬品数量割合	70.3%	77.1%	達成										
<p>5-(2)-②-エ 費用の効率的執行 《経費の節減》</p>	<p>○エコマネジメントシステムに基づく取組（経営管理課）</p> <table border="1" data-bbox="491 1850 1382 1951"> <thead> <tr> <th>数値目標</th> <th>目標</th> <th>H27実績</th> <th>H27達成状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>温室効果ガス（CO2）使用量削減（エネルギー使用量前年度比）</td> <td>△1.1%</td> <td>△2.99%</td> <td>達成</td> </tr> </tbody> </table>	数値目標	目標	H27実績	H27達成状況	温室効果ガス（CO2）使用量削減（エネルギー使用量前年度比）	△1.1%	△2.99%	達成				
数値目標	目標	H27実績	H27達成状況										
温室効果ガス（CO2）使用量削減（エネルギー使用量前年度比）	△1.1%	△2.99%	達成										

重点取組項目	主な取組内容（H27年度）								
5-(2)-②-オ 費用の効率的執行 《業務委託の検討》	<p>○給食業務委託の導入、調理業務委託から給食業務委託への移行（業務支援課）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・千厩、大槌、山田病院の給食業務委託に向けた取組支援 ・高田、軽米病院の調理業務委託から給食業務委託に向けた取組支援 <p>○給食業務委託導入後の運用状況検証（業務支援課）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東和、一戸病院の給食業務委託導入状況現地確認（4/1） ・主要業者へのヒアリング（4～5月、8業者） <table border="1" data-bbox="480 443 1369 517"> <thead> <tr> <th>数値目標</th> <th>目標</th> <th>H27実績</th> <th>H27達成状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>調理業務委託を導入している病院数</td> <td>5病院</td> <td>5病院</td> <td>達成</td> </tr> </tbody> </table> <p>※H27年度の取組結果として、H28実績は8病院（目標8病院）で達成の見込み。</p>	数値目標	目標	H27実績	H27達成状況	調理業務委託を導入している病院数	5病院	5病院	達成
数値目標	目標	H27実績	H27達成状況						
調理業務委託を導入している病院数	5病院	5病院	達成						
5-(2)-③ 個人未収金の縮減	<p>○病院全体での発生防止、回収の取組（医事企画課）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・滞納債権回収強化月間実施（5月、11～12月） ・個人未収金の督促管理システムの導入後の検証（7月、中央） <p>○医事担当職員のスキル向上（医事企画課）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医事業務指導の実施（5～11月） ・個人未収金担当者会議の開催（6月） ・人材育成プランに基づく研修会（個人未収金）の開催（7月） <p>○支払いやすい環境の整備（医事企画課）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入金機クレジット対応機能導入にむけた費用対効果の検証（導入見送り） <p>○未収金管理体制の強化（医事企画課）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人未収金担当者会議における各種支払方法や支払制度利用促進の周知 <p>○滞納債権回収業務委託や法的措置への取組による回収強化（医事企画課）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・滞納債権集金代行委託業者による回収（143件 1,892,281円 回収率4.1%） <table border="1" data-bbox="488 994 1377 1068"> <thead> <tr> <th>数値目標</th> <th>目標</th> <th>H27実績</th> <th>H27達成状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>過年度個人未収金÷医業収益</td> <td>0.73%</td> <td>0.635%</td> <td>達成</td> </tr> </tbody> </table>	数値目標	目標	H27実績	H27達成状況	過年度個人未収金÷医業収益	0.73%	0.635%	達成
数値目標	目標	H27実績	H27達成状況						
過年度個人未収金÷医業収益	0.73%	0.635%	達成						

平成28年度岩手県立病院等事業運営方針

平成26年度から平成30年度までを計画期間とする「岩手県立病院等の経営計画《2014-2018》」では、次の4つの基本方針を掲げ、県民への良質な医療の持続的な提供のため、様々な取組を進めることとしています。

《基本方針》

「心のかよう、患者中心の医療の展開」	〈 患者 本 位 〉
「職員が働きがいを持つ職場づくり」	〈 職 員 重 視 〉
「健全経営に向けた経営の効率化」	〈 不 断 の 改 革 改 善 〉
「地域と一体となった医療の確保」	〈 地 域 と の 協 働 〉

平成27年度においては、県民や患者や職員にも魅力ある県立病院をめざし、沿岸被災3病院再建の着実な推進や、医師確保対策、職員の資質向上と人材育成など経営計画に基づき継続して取り組んできました。

少子高齢化による医療需要等の変化に的確に対応していくため、平成28年度においては、地域医療構想を踏まえ、経営計画に掲げる5つの基本方向ごとの重点取組事項を着実に実行するなど、経営改善に向けて、全職員一丸となって取組を進めてまいります。

■■ 平成28年度に最重点として取り組む事項 ■■

- 1 県立病院間・他の医療機関を含めた役割分担と地域連携の推進**
 - ・ 職員の効率的な配置等による圏域内の一体的な運営
 - ・ 地域医療構想を踏まえた病床の機能分化・連携、在宅医療や介護との連携推進等の改革への対応
 - ・ 新公立病院改革ガイドライン等、医療政策動向や地域医療ニーズを踏まえた病床規模適正化
- 2 良質な医療を提供できる環境の整備**
 - ・ 沿岸被災3病院再建の着実な推進
 - ・ リハビリテーション提供体制の強化
 - ・ 電子カルテの計画的導入や圏域内の診療情報の共有等、医療情報システムの整備
- 3 医師不足の解消と医師の負担軽減に向けた取組の推進**
 - ・ 女性医師支援のための総合的な施策（岩手JOYサポートプロジェクト）の推進
 - ・ 奨学金養成医師の効果的な配置
 - ・ 新たな専門医制度に対応した後期研修医（専攻医）の受入れ体制の充実と積極的な情報発信
- 4 職員の資質向上と人員の重点配置**
 - ・ 看護、薬剤部門等各職域のキャリアデザインによる資格取得職員の計画的養成
 - ・ 看護職員等の確保及び適正配置に向けた取組の推進
 - ・ ワークライフバランスを考慮した多様な勤務形態の導入に向けた取組の推進
- 5 安定した経営基盤の確立**
 - ・ 診療報酬改定への的確な対応や上位施設基準の取得等、継続した収益確保策の実施
 - ・ 効果検証に基づく医療機器整備及びSPDデータを活用した材料費の抑制
 - ・ 多職種連携による業務指導等を通じた業務改善の推進

《平成 28 年度重点取組事項》

1 県立病院間・他の医療機関を含めた役割分担と地域連携の推進

(1) 県立病院群の一体的・効率的な運営

① 一体的な運営に向けた取組の強化

- 職員の効率的な配置等による地域病院への支援体制の構築など、圏域内の一体的な運営の推進
- 基幹病院への医師の重点配置と地域病院への支援に向けた取組

② 圏域を越えた連携強化

- 地域のニーズや偏在に対応した医師の派遣調整
- 沿岸病院支援体制の構築

③ 基幹病院・本庁に集約した業務の運用方法の改善

- 業務集約化に係る課題解決に向けた取組の推進
- 病院給与事務担当者のスキルアップ支援、給与事務の改善

(2) 地域の状況や各病院の特色等に基づいた各病院が担うべき役割と機能

① 病院ごとの役割・機能の見直し

- 地域医療構想を踏まえた病床の機能分化・連携、在宅医療や介護との連携推進等の医療提供体制の改革への対応

② 病床規模の適正化

- 新たな公立病院改革ガイドライン等、国や県の医療政策動向や地域の医療ニーズを踏まえた病床規模適正化の推進

(3) 他の医療機関・介護施設等との役割分担と連携

① 介護・福祉との連携強化

- 退院支援に携わる看護師及び医療社会事業士による地域医療福祉連携体制の強化
- 地域包括ケアシステム構築への参画

② 民間移管の円滑な実施

- 沼宮内地域診療センターに係る岩手町が行う民間移管に向けた取組の支援

③ 病院等施設の空きスペースの活用

- 空きスペースの活用に係る地元自治体との協議、現在活用している施設の状況把握

(4) 地域との協働による病院運営

① 広報活動等による県民理解の醸成

- 市町村の広報事業等を通じた情報発信
- ホームページ及び広報メディアの効果的活用

【経営計画に掲げる目標】

- ・ 大きな病院と診療所の役割分担認知度：58.4% （※数値は、「岩手県民計画第3期アクションプラン」数値に置換えたもの）
- ・ 救急患者数総数のうち当日帰宅措置患者の割合：76.6%

② 運営協議会等の開催

- 県立病院運営協議会の開催（各圏域）
- 地域懇談会の開催（各病院等）

③ ボランティアとの協働

- 病院ボランティアの受入推進

2 良質な医療を提供できる環境の整備

(1) 患者中心の安全・安心な医療の提供

① 医療の質の確保

ア 病院機能評価受審の推進

- 病院機能評価の受審（予定：二戸病院・軽米病院）

【経営計画に掲げる目標】

- ・病院機能評価認定病院数・職員による病院機能評価実施病院数：18病院

イ クリニカルパス作成の推進

- クリニカルパス推進委員会開催によるパス推進に向けた取組施策の推進
- クリニカルパス研修会の開催

【経営計画に掲げる目標】

- ・クリニカルパス適用率：59.0%

ウ リハビリテーション提供体制の強化

- 365日体制導入に向けた業務指導や交流研修の実施
- 土日、祝日リハ実施病院の拡充

エ 病棟薬剤業務の計画的な導入

- 基幹病院を中心とした実施病院の拡大（二戸病院）

【経営計画に掲げる目標】

- ・病棟薬剤業務実施病院数：11病院

オ 診療録管理体制の強化

- 診療情報管理業務の質的向上などに向けた取組
- 診療録管理体制加算Ⅰ、Ⅱの取得（加算Ⅱ：大槌病院・山田病院）
- 病院指標の作成と公開（機能評価係数Ⅱにおける評価への対応）
- がん登録推進法への対応

【H28年度の取組目標】

- ・診療録体制加算Ⅱの取得：2病院（新規）

② 医療安全対策・感染対策の推進

ア 医療安全対策の推進

- 医療安全管理者等会議の開催
- 医療法改正も踏まえた医療安全対策の強化

イ 医療メディエーターの活用推進

- 業務指針の作成
- フォローアップ研修会の開催

ウ 医療機器の安全確保

- 臨床工学技士の増員や医療機器の統一に向けた取組などによる医療機器の安全確保
- 臨床工学技士の業務指導、病院間の業務交流等の実施
- 「CEたより」の定期発行等による職員への注意喚起

エ 感染対策の推進

- 県立病院間の支援体制の構築・実施
- 感染対策ガイドラインの追加・見直し

③ 患者満足度の向上

- 患者満足度調査の実施及び結果の共有と改善の働きかけ
- 研修の実施による接遇の向上

【H28年度 of 取組目標】

・基本的な接し方

不満・やや不満患者の割合 4.9%以下・満足・やや満足患者の割合：66.4%以上

・インフォームド・コンセント

不満・やや不満患者の割合 4.9%以下・満足・やや満足患者の割合：64.1%以上

(2) 病院の施設・設備の整備

① 被災した病院の再建

- 大槌病院 平成 28 年度開院
- 山田病院 平成 28 年度開院
- 高田病院（平成 29 年度開院）の建築工事等を実施

② 病院附帯設備の計画的な改修

- 大規模改修の計画的な推進
- 建物一般整備の計画的・効果的な整備

③ 高度医療機器の効率的な整備

- 医療用設備整備調査委員会による高度医療機器の効果検証等、必要性・有用性等の十分な精査
- 遊休資産の有効活用（共有ファイルの活用等）
- 多様な整備方式の導入

(3) 医療情報システムの整備

① 電子カルテシステムの計画的導入

- 電子カルテ導入（大槌病院・山田病院・千厩病院）、更新（胆沢病院）
- サーバー集約化を取り入れた医事会計システムの更新（12 病院）
- 電子カルテ標準化の推進

【経営計画に掲げる目標】

・電子カルテ稼働病院数：14 病院

② 診療情報共有システムの整備

- 岩手県医療情報ネットワークシステムの整備
- 二次保健医療圏連携システムの導入検討への参画
- 県立病院のデータバックアップ及び共有項目の充実

3 医師不足の解消と医師の負担軽減に向けた取組の推進

(1) 医師確保に向けた取組

① 医師の絶対数の確保

- 関係大学に対する継続した派遣要請
- 医師の任期付職員採用制度によるシニアドクターの採用推進
- 即戦力医師の招聘活動の推進及び医師の定着支援に向けた意見交換等のフォローアップの実施
- 本県出身学生に対する県人会等での働きかけ
- 奨学金養成医師の効果的な配置

【経営計画に掲げる目標】

- ・新規招聘医師数：10人

【H28年度を取組目標】

- ・年度末における医師増員数：24人（初期研修医含む）

② 地域別・診療科別の偏在の緩和

- 基幹病院等による地域病院への支援体制の検討と調整
- 総合診療医の育成推進
- 圏域内における診療応援及び圏域を越えた連携

③ 初期研修医及び後期研修医の受入れ拡大

- 臨床研修体制の充実・強化
- 臨床研修医のスキルアップ等
- 指導医のスキルアップ等
- 医学生に対するアピールの強化等
- 臨床研修に係る病院事務担当者の体制強化等
- 新たな専門医制度に対応した後期研修医（専攻医）の受け入れ体制の充実と積極的な情報発信

【経営計画に掲げる目標】

- ・初期研修医1年次受入数：71人

(2) 魅力ある勤務環境への改善

① 医師の業務負担の軽減

- 各職域のキャリアデザインや人材育成方針に対応した認定専門資格取得の支援
- 医療クラークの体制強化や質的向上に向けた取組

② 女性医師の支援

- 女性医師支援のための総合的な施策（岩手JOYサポートプロジェクト）の推進
- 女性医師の仕事と育児の両立支援（24時間保育・病後児保育・学童保育等）
- 育児中の女性医師の再就業機会の創出支援（育児短時間勤務女性医師（ママドクター）の採用推進等）

③ 医師の処遇改善

- 医師の勤務環境及び生活環境の向上
- 医師の処遇改善に向けた取組の推進
- 勤務医との意見交換の実施

4 職員の資質向上と人員の重点配置

(1) 人づくり

① 計画的な人材育成

ア 薬事部門

- 認定薬剤師の育成

イ 診療放射線部門

- 圏域での業務支援体制、配置基準の構築
- 放射線治療精度管理専門職の育成と業務支援

ウ 臨床検査部門

- 内部・外部精度管理の充実による臨床検査精度の向上
- 認定技師等キャリア開発ガイドラインによる人材育成

エ 看護部門

- 認定看護師の育成及び適正配置
- 特定行為に係る研修派遣の検討
- ジョブローテーションのための人事交流研修の実施

オ 栄養部門

- キャリア開発ガイドラインによる人材育成
- 調理師業務実務研修会の実施

カ 視能訓練部門

- 部門業務運営方針の運用

キ 臨床工学部門

- 部門業務運営方針の運用
- 業務交流研修の実施

ク 医療社会事業部門

- 部門業務運営方針の運用

ケ リハビリテーション部門

- 部門業務運営方針の運用
- 管理者育成研修会の実施

コ 臨床心理部門

- 部門業務運営方針の策定

サ 事務部門

- 事務職員人材育成プランの実施
- 実地検査・医事業務指導、研修会等による能力向上・人材育成

シ 職種・部門のリーダーとなる人材の育成

- 監督者研修、経営幹部職員研修の実施と研修内容及び受講対象者の見直し

【経営計画に掲げる目標】

- ・ 認定看護師数：89人
- ・ 専門・認定薬剤師数：40人

② 人事考課制度の推進

- 人事考課者研修会の実施と研修内容及び受講対象者の見直し

③ 職員研修の充実

- 平成 28 年度研修計画による各種研修の実施

【H28 年度の取組目標】

- ・研修受講後の自己チェック（肯定回答率）

意識変化：90%以上、行動変化：90%以上

(2) 働きやすい職場環境

① 職員満足度の向上

- 職員満足度調査の実施及び結果の活用

【経営計画に掲げる目標】

- ・職員満足度調査における満足度：79.5%

② 選択可能な多様な勤務形態

- ワークライフバランスを考慮した多様な勤務形態の導入に向けた取組みの推進
- 正規看護職員の夜勤専従の実施

③ 仕事と生活の調和

- 産前産後休暇・育児休業等取得者に対応した適切な補充
- 超過勤務縮減の取組

④ 職員の健康サポート

- 職員定期健康診断、各種検診の充実及び予防接種の実施
- メンタルヘルスケアの取組
- 「心の病気による職員を抱える管理・監督者のための支援マニュアル」の活用及び職場復帰支援の強化
- 職員喫煙状況調査の継続実施と禁煙支援に係る取組

(3) 職員の適正配置

① 再建する被災病院の体制確保

- 再建に向けた計画的な職員の増員等

② 地域医療福祉連携体制の構築

- 退院支援に携わる看護師及び医療社会事業士による地域医療福祉連携体制の強化

③ リハビリテーション等医療技術部門の充実

- 理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の増員によるリハビリテーション提供体制の充実
- 病棟薬剤業務の拡充に向けた薬剤師の確保
- 臨床工学技士等の増員による体制強化

④ 看護職員の確保

- 看護職員確保対策検討委員会の提言を踏まえた確保方策の推進
- 就職説明会への積極的な参加、ホームページの活用などによる県立病院の魅力等の情報発信

5 安定した経営基盤の確立

(1) 事業運営体制の整備

① 経営企画機能の強化

- 医事業務委託の整理や事務局の業務見直しによる病院の経営企画機能の強化
- 多職種連携による業務指導の充実

② 病院経営マネジメントの推進

- 中期的な財政見直しに基づく経営計画の見直しによる検証改善（PDCA）サイクルの徹底
- 平成27年度重点取組事項の評価等に基づく主要課題への着実な取組み
- 病院経営マネジメントに関する研修の実施

③ 病院毎の経営目標の設定と進捗管理

- 平成28年度当初予算に基づいた各病院の経営目標及び収支計画の設定
- 本庁と病院との情報交換会等の実施、進捗管理

(2) 収支均衡に向けた取組

① 収益の確保

- 診療報酬改定情報の共有による、新規・上位施設基準の早期算定に向けた院内体制等の整備
- 急性期病院を中心とした紹介・逆紹介の推進等による、新入院患者の確保及び診療単価の増
- 地域医療支援病院の平成29年度以降の承認に向けた取組（大船渡病院）
- 全国DPC病院のベンチマーク分析及びDPC分析データに基づくクリニカルパスの活用推進
- 指導料等の算定強化、SPDによる特定保険医療材料の突合資料の提供など収益確保の取組
- 請求精度の向上による査定減防止への取組徹底及び再審査請求の促進

【経営計画に掲げる目標】

- ・ 病床利用率
センター病院及び基幹病院（内陸南部）85.0%、基幹病院（県北・沿岸部）78.0%
地域病院 75.0%
精神科病院 78.0%
- ・ 紹介率（基幹病院）：51.0%
- ・ 逆紹介率（基幹病院）：40.0%

- 未利用資産の状況調査及び売却等の推進
- 診療部門と協力した特別室の利用促進と算定率向上

② 費用の効率的執行

ア 適正な給与水準の維持

- 超過勤務縮減の取組

【経営計画に掲げる目標】

- ・ 給与費対医業収益比率：61.7%

イ 投資的経費の効率的な執行

- 大規模改修の計画的な推進
- 建物一般整備の計画的・効果的な整備
- 医療用設備整備調査委員会による高度医療機器の効果検証等必要性・有用性等の十分な精査

ウ 材料費の抑制

- 推奨後発医薬品の品目追加、バイオシミラー導入推進等による後発医薬品の使用拡大
- 医療局一括契約の定期的な価格交渉による薬品費の縮減
- SPDデータを活用した同種同効品の整理統一及び廉価購入
- 材料購入価格のベンチマーク情報等を基にした廉価購入の推進

【経営計画に掲げる目標】

- ・ 材料費対医業収益比率 26.1%
- ・ 後発医薬品数量割合：72.0%

【H28年度の取組目標】

- ・ 診療材料費対入院・外来収益比率 10.4%

エ 経費の節減

- エコマネジメントシステムに基づく取組

【数値目標：H28年度の取組目標】

- ・ 温室効果ガス（CO2）使用量削減：△1.1%（エネルギー使用量削減）

オ 業務委託の検討

- 給食業務委託導入後の運用状況検証（大東病院・高田病院・千厩病院・軽米病院・大槌病院・山田病院）

【経営計画に掲げる目標】

- ・ 調理業務委託を導入している病院数：8病院

【H28年度の取組目標】

- ・ 給食業務委託の平成29年度導入に向けた取組病院数1病院

- 給食業務委託の導入（平成29年度：遠野病院）

③ 個人未収金の縮減

- 病院全体での発生防止、回収の取組
- 医事担当職員のスキル向上
- 支払いやすい環境の整備
- 未収金管理体制の強化
- 滞納債権回収業務委託や法的措置の実施による回収強化

【経営計画に掲げる目標】

- ・ 過年度個人未収金／医業収益：0.72%